

ダイオキシン類分析結果

令和3年度

検体名	測定位置	単位	前期			後期			基準値	
			採取年月日	結果判明日	結果	採取年月日	結果判明日	結果		
最終処分場 浸出水/放流水	小松原 浸出水	調整槽手前	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.25	R3.12.14	R4.1.20	0.19	-
	天狗沢 浸出水	調整槽	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.00014	R3.12.14	R4.1.20	0.000078	-
	天狗沢 放流水	処理施設 放流水槽	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	※ 0	R3.12.14	R4.1.20	※ 0	10
最終処分場 周辺河川	滝分沢	上流	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.066	R3.12.14	R4.1.20	0.067	1 (環境基準)
		下流	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.14	R3.12.14	R4.1.20	0.10	
	天狗沢	上流	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.078	R3.12.14	R4.1.20	0.064	
		中流	pg-TEQ/L	R3.8.30	R3.9.24	0.069	R3.12.14	R4.1.20	0.095	

※ 結果の“0”とは、ダイオキシン類29物質全てが定量下限値未満であったことを示し、JIS規格に基づき“0”と表記します。

※ 毒性等価係数(TEF) : WHO/IPCS(2006)適用

※ “定量下限値未満”とは、物質を正確に測ることができる最小値より、測定値が少なかったことを示します。

現在、毒性があると判断されているダイオキシン類は29種類ですが、毒性の強さはそれぞれ異なっています。

そのため、ダイオキシン類としての全体の毒性評価にあたり、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性を1として他のダイオキシン類の毒性の強さを換算した係数が用いられています。

ダイオキシン類濃度のTEQ換算は、個々のダイオキシン類濃度にそれぞれの毒性を乗じた値を足し合わせて表わしています。

※ TEQ(毒性当量) : 異性体によって異なるダイオキシン類の毒性を 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-1,4-ジオキシン (2,3,7,8-TCDD) に置き換えて示すものです。

※ ng(ナノグラム) : 10億分の1グラム、pg(ピコグラム) : 1兆分の1グラム

長野市資源再生センター